

図1 採水場所

### 3.結果および考察

#### 3.1.多々良沼の水質把握

沼1(湖心)のCOD推移を図2に示す。年内での増減が大きく、冬場(12月~4月)は特に高い値を示している。冬場は流入量とともに沼の水量も著しく減少しており、冬場のCOD濃度上昇に大きく影響しているものと思われる。年ごとに採水月や採水頻度が異なるため単純には比較できないが、湖沼のCOD年間評価に用いる75%値

をみると、直近5年では8 mg/Lから11 mg/L程度であった。多々良沼に基準値は設定されていないが、B基準の5 mg/L(農業用水)やC基準(不快感を感じない限度)の8 mg/Lと比較しても高い値であると言える。

次に、主な2つの流入河川である多々良川と孫兵衛川のうち、ほとんどの流入量を占める多々良川(採水地点:江尻橋)のCOD平均値と流量を図3に示す。

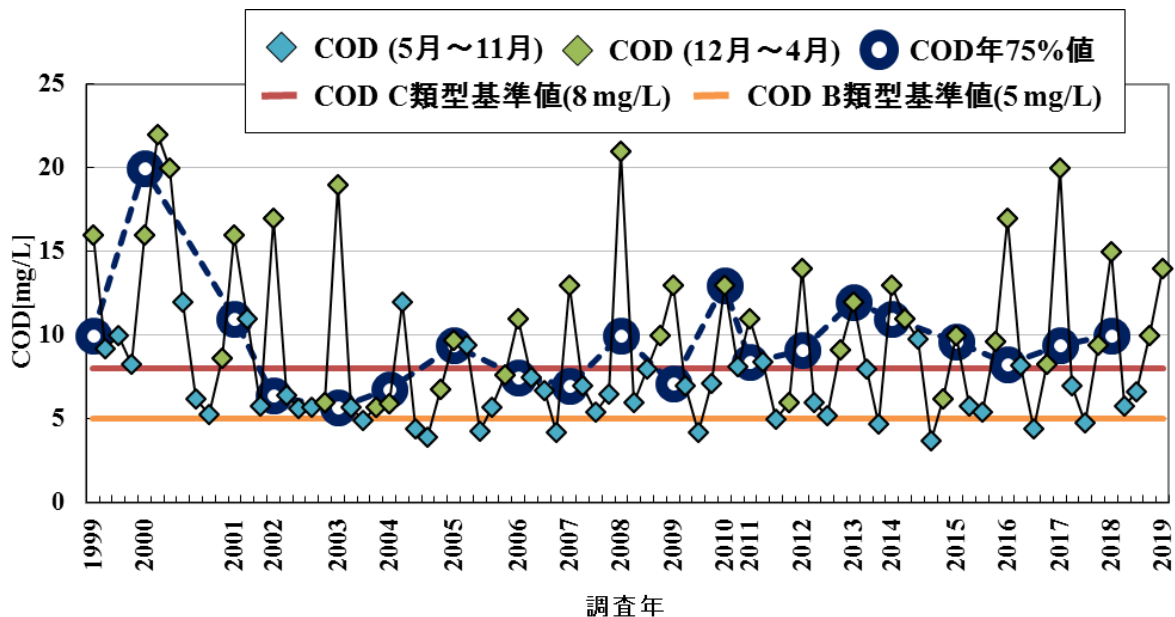


図2 多々良沼湖心のCOD推移